様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(5)-ア	高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり	施　策	①高齢者の社会参加の促進
			施策の小項目名	○多様な就業機会の確保
主な取組	再就職を希望する高齢者への支援、企業の高齢者雇用への意識啓発		対応する成果指標	老人クラブ加入率の全国順位
施策の方向	・高齢者が個々の経験や知識を生かし、地域社会において活躍し続けられるよう、多様な就業機会の確保に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
再就職を希望する高齢者のさまざまなニーズに対応した就労を支援するため、マッチング機会を提供するほか、社会保険労務士等の専門家による企業向けのセミナーを実施する。	県	再就職を希望する高齢者のさまざまなニーズに対応した就労支援等の実施、企業の高齢者雇用の周知広報		
		延べ支援者数（累計）、企業向けセミナーの開催回数（累計）		
		―	50人 2回	50人（100人） 2回（4回）

担当部課【連絡先】	商工労働部雇用政策課　【　098-866-2324　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	事業主向け雇用支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	20,432の一部	24,239の一部

予算事業名	事業主向け雇用支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	20,846の一部

令和6年度活動内容

専門家による高齢者雇用支援施策に関するセミナーを開催した。同事業において雇用相談窓口の開設、助成金制度の案内冊子作成の取組も実施した。

令和7年度活動計画

専門家による高齢者雇用支援施策に関するセミナーを開催する。同事業において雇用相談窓口の開設、助成金制度の案内冊子作成の取組も実施する。

活動指標名	延べ支援者数（累計）、企業向けセミナーの開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	―	32人	54人	50人	100.0%	順調	・高齢者を対象とした合同企業説明会を開催し、54名の高齢者に就労支援を行った。 ・企業向けに高齢者雇用支援施策（助成金等）に関するセミナーを実施した。
活動指標名	延べ支援者数（累計）、企業向けセミナーの開催回数（累計）		R6年度				
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	―	7回	9回	２回	100.0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度は、再就職を希望する高齢者54名に就職支援を行った（目標値50人）。また、企業向けに社会保険労務士等の専門家による高齢者雇用支援施策に関するセミナーを９回実施した（目標値２回）。再就職を希望する高齢者への支援、企業の高齢者雇用への意識啓発の取組は順調に進捗していると考える。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○セミナー動画をアーカイブ配信することにより、セミナーを受講する機会を増やし、内容の理解を深め、より詳細な相談につなげることで支援の質を高める。	○雇用関係助成金等のセミナー動画をアーカイブ配信することにより、情報を必要とする事業主の利便性を高めるとともに、繰り返し視聴できるようにしたことで理解度を深める環境を整え、各種助成金の活用を促した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較(内部要因)	令和６年の県内における70歳までの高年齢者就業確保措置を実施済みの企業は29.2%となっており、全国平均（31.9%）より低い状況となっている。
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業主に対し、70歳までの就業機会確保措置の努力義務があること、高齢者を雇用する際に活用できる助成金制度があること等について周知広報の取組をさらに強化する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	日頃から地域の事業者や中小企業を支援している各地域の商工会等と連携することで、地域に根差し、ニーズに沿った相談に繋げられるよう周知広報を行う。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	オンライン診断ツールを導入し、いつでも気軽に簡単な診断で「活用できる助成金」を提案することにより、専門家が対応する相談窓口へ繋げる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(5)-ア	高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり	施　策	①高齢者の社会参加の促進
			施策の小項目名	○多様な就業機会の確保
主な取組	シルバー人材センター等への支援		対応する成果指標	老人クラブ加入率の全国順位
施策の方向	・高齢者が個々の経験や知識を生かし、地域社会において活躍し続けられるよう、多様な就業機会の確保に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
定年退職者等の高齢者に対して、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や高齢者社会参加の促進を図るなどのため、沖縄県シルバー人材センター連合および新設シルバー人材センターに対する運営費を支援する。	県,市町村,シルバー人材センター連合	高齢者に対し就労と生きがいづくりを提供し、地域活性化を図ることを目的としたシルバー人材センターの運営を支援		
		シルバー人材センター会員数		
		6,968人	7,372人	7,800人

担当部課【連絡先】	商工労働部雇用政策課　【　098-866-2324　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	高齢者雇用対策事業費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	補助	14,379	15,474

予算事業名	高齢者雇用対策事業費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	18,771

令和6年度活動内容

沖縄県シルバー人材センター連合および新設シルバー人材センターに対する運営費の助成を行い、活動を支援した。

令和7年度活動計画

沖縄県シルバー人材センター連合および新設シルバー人材センターに対する運営費の助成を行い、活動を支援する。

活動指標名	シルバー人材センター会員数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		シルバー人材センター事業の啓発・普及活動等を促進している沖縄県シルバー人材センター連合に対する運営費の助成を行い、活動を支援した。
	5,712人	5,601人	5,603人	7,800人	71.8%	やや遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

シルバー人材センター会員数は、微増微減を繰り返しながら増加傾向で推移しているが、令和６年度目標値に対する達成割合は71.8%となっているため、「やや遅れ」と判定した。目標値に届かなかった要因としては、新型コロナの影響の他、高齢者が多様な働き方を選択していることが考えられる。沖縄県シルバー人材センター連合と連携し、未設置町村への新規設置等について取り組んでおり、会員数の増加を図っている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○沖縄県シルバー人材センター連合及び各市町村シルバー人材センターと連携して、未設置町村への設置を働きかけ、新設町村に対する助成の活用を促す。	○沖縄県シルバー人材センター連合及び各市町村シルバー人材センターと連携して、未設置町村への設置を働きかけている。そのうち、久米島町については、関係団体が参加する設立準備会が開催されるなど、設立に向けて動き始めている。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	令和６年３月末における県内シルバー人材センター女性会員の割合は32%となっており、全国平均の35%と比較して少ない状況となっている。受注業務の多くは草刈り・清掃で、男性の仕事のイメージが強い。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	県シルバー連合と連携し、女性会員が希望する「調理補助」「事務系業務」「子育て支援関係」等の業務を確保するための事業所開拓や講習の実施、交流大会の開催等により女性会員の拡大に取り組む。